

評価基準

No	評価項目	評価の視点	採点	係数	評価点
1	法人の継続性と安定性	・法人としての運営は安定しているか ・累積欠損がなく、かつ、経営状態は良好であるか	10	×1	10
2	導入実績	過去2年間における国・地方公共団体の導入実績	10	×1	10
3	仕様と要件	・システム整備の内容に不足はないか ・自治体窓口DXSaaSを利用する提案になっているか ・システムの機能要件は満たしているか	10	×2	20
4	拡張機能	将来の業務拡大に備え、システムの拡張性が提案されているか。	10	×2	20
5	独自提案	・仕様書以外の独自提案がふくまれているか。 ・独自提案は今後の東御市の政策において有用であるか	10	×2	20
6	セキュリティ	個人情報保護や機密事項の漏洩などが発生しない開発方式および運用環境が提案されているか。	10	×1	10
7	納品成果物	成果物は仕様書の要件をみたしているか	10	×1	10
8	実施体制	・実施体制に係る人数、協力体制等のほか、業務責任者の業務の経験年数は適切か ・コンプライアンス確保の業務執行体制が整備されているか ・発注者の作業負荷を下げる工夫がされているか ・発注者と受注者のタスク及び役割分担が明確にされているか ・プロジェクトマネジメントの有資格者がアサインされているか	10	×1	10
9	保守運用	事故や緊急時の対応について適切な方策が提案されているか	10	×1	10
10	導入コスト	価格提案書の額が上限金額を比較して安価であるか	10	×1	10
11	維持コスト	運用経費は安価であるか	10	×2	20
合 計					150

企画提案書は、実施説明書の記載事項に留意するほか、評価項目ごとわかりやすく作成するものとする。

評価項目ごと、評価の着眼点や配点をもとに、提案内容の優劣に応じて付与する点数の基準を定めるものとする。

不十分	やや不十分	普通	やや優れている	優れている
1	3	5	7	10

- 1 提出された企画提案書等を本基準に基づいて評価し、各評価者の採点の合計点が最も高い者を受注候補者とする。
- 2 評価点の満点は750点とする。(評価者1人あたりの点数100点×評価者5人)
- 3 各評価者の採点の合計点450点を最低基準点とし、それ以上の点数を得た者の中から受

別紙3 評価基準

注候補者を特定する。

- 4 点数が同点になった場合は、次の方法により順位を決定する。
 - (1) 評価項目「3 仕様と要件」と「5 独自提案」の合計点数が高い者を上位とする。
 - (2) 前号も同点の場合は、評価項目「4 拡張機能」が高い者を上位とする。
- 5 評価者がヒアリング審査を欠席する場合には、代理者が対応し、代理者の出席が困難な場合には、書類審査をもって代える。
- 6 審査結果についての異議申し立ては受け付けない。

採点の目安

No	評価項目	不十分	やや不十分	普通	やや優れている	優れている
1	法人の継続性と安定性	累積欠損あり	過去3年の財務諸表により評価			
2	導入実績	なし	官公庁実績数 1～5	官公庁実績数 6～10	官公庁実績数 11～20	官公庁実績数 20～
4	拡張機能	なし	－	含まれている	－	優れた提案が含まれている
10	導入コスト※	－	－	上限額と同額 ～割引 5.0%	上限額割引 5.0 超～15.0%	上限額割引 15.0%超
	※ 提案価格が過度に低価格（上限額の30%割引以上）であって、ヒアリング審査により当該価格の理由が明確でないと評価者が判断した場合には、1点とする。					
11	維持コスト (年額)	システム整備（ハード＋ソフトを含むイニシャル）費用を100%として				
		50%超	30%超～50%	20%超～30%	10%超～20%	～10%